

令和4年度 奈良県キャラバン・メイト養成研修 プログラム

①講義（オンライン）

開催日：令和5年1月13日（金）
 実施方法：オンライン配信（ZOOM）
 時間：13:00～16:40
 （3時間40分・休憩含）

講義時間・担当者			
内 容（時間は目安）	目 的	時間	テキストの該当する章
13:00～13:20 I 開会挨拶・オリエンテーション ○認知症をめぐる現状・奈良県の認知症施策につ ○認知症サポーターキャラバンとは ○研修のねらい	認知症サポーターキャラバンとは何か、事業展開の趣旨について理解し、事業の位置づけを確認する。	20分	キャラバン・メイト養成テキスト 序章
13:20～14:45 II 認知症サポーターに伝えたいこと 1. 認知症の基礎知識 ○ 認知症とは ○ 認知症の主な症状 ○ 中核症状・行動・心理症状 ○ 認知症の診断・治療 ・早期診断・早期治療の重要性 ○ 認知症の人への対応 ○ 認知症の予防についての考えかた	①認知症とはどういう病気なのかを知り、正しく理論的に理解する。 ②認知症サポーター養成講座でサポーターへ分かりやすく伝えられるようにする。	85分	キャラバン・メイト養成テキスト 第1章
（10分間休憩）			
14:55～15:30 2. 介護家族の心理的理解 ○認知症の人と接するときの心がまえ ○介護者の気持ちの理解 ○介護者への支援	認知症の人や介護をしている家族の気持ちを理解し、どのような支援をすればよいか考える。	35分	キャラバン・メイト養成テキスト 第1章
15:30～16:40 III 認知症サポーター養成講座の運営方法 1. 認知症の人を地域で支える ○ 認知症の人を支えるネットワーク ・公的なサービス、相談窓口 ・地域のサービス、相談窓口 ・地域の社会資源 ・地域包括ケアシステムについて ○ 認知症サポーターとは ○ 認知症サポーターができること （地域でできること、働く場面でできること 児童・生徒などの場合） 2. 認知症サポーター養成講座の展開方法 ○ キャラバン・メイトの役割 ○ サポーター養成講座開催の流れ ○ サポーター養成講座の概要 ○ サポーター養成の取組事例の紹介	①認知症の人を支える奈良県下の社会資源やネットワークについて学ぶ。 ②近隣や地域で起きている様々な問題について、様々な状況を想定し、どこの窓口に繋ぐのが適切か考える。 ③認知症の人を地域で支える視点を学ぶ。 ④キャラバン・メイトの役割を確認し、認知症サポーター養成講座の展開について、協力体制や企画などの実務、講座のポイントなど運営方法について学ぶ。	70分	キャラバン・メイト養成テキスト 第2章及び第3章 県内市町村事例紹介

②グループワーク（集合型・対面形式）

開催日：令和5年2月6日（月）
 場所：社会福祉総合センター研修室
 時間：12:30～15:00
 （2間30分・休憩含）

講義時間・担当者			
内 容（時間は目安）	目 的	時間	テキストの該当する章
12:30～14:40 演習（グループワーク） 「講座の対象者について考えよう」 ○受講対象者の分類 A 地域住民／B 職域／C 学校など 「対象者に合わせたプログラムを作ろう」 ○グループ発表 ○まとめ と 講評 ※ 適宜休憩	①対象者ごとに基本情報を整理する。 （分類ごとの特徴をおさえた講座にするため） ②実際の講座開催を想定して、プログラムの作り方を体験的に学ぶ。	130分	キャラバン・メイト養成テキスト 第3章及び第4章
14:40～15:00 IV 事務連絡 1. キャラバン・メイトの登録について 2. 質疑応答・アンケート記入・回収 3. 修了証・オレンジカード・オレンジリング	登録・講座開催までの流れ等についての事務連絡	20分	
15:00 閉 会			